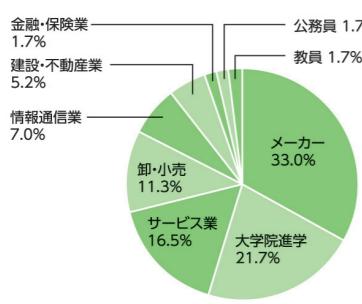


卒業後の進路

食品や薬品などの商社・メーカーを中心に就職しています。(2020~2022年度 実績)



メーカー	(株)アンズコーポレーション、伊賀屋食品工業(株)、(株)伊藤園、伊藤ハム(株)、エースコック(株)、カネテツデリカフーズ(株)、キッコーマン食品(株)、(株)コスモビューティー、JCRファーマ(株)、ゼリア新薬工業(株)、高梨乳業(株)、日本ハムファクトリー(株)、日本コルマー(株)、ビオフェルミン製薬(株)、フジパングループ本社(株)、富士フィルム和光純薬(株)、(株)増田製粉所、(株)Mizkan、山崎製パン(株)、(株)ユーハイム、(株)ユタックス
建設・不動産業	セキスハイム近畿(株) (セキスハイムグループ)、大和ハウス工業(株)
情報通信業	NECソリューションイノベータ(株)、(株)日立システムズパワーサービス、(株)富士通エフサス
卸・小売	富士ゼロックス大阪(株)、宮野医療器(株)、UCCコーヒー・プロフェッショナル(株)
金融・保険業	大阪シティ信用金庫
サービス業	アース環境サービス(株)、イカリ消毒(株)、山陽放送(株)
公務員	奈良県警察本部
教員	愛知県教育委員会、兵庫県教育委員会

大学院進学者 甲南大学大学院、神戸大学大学院、兵庫教育大学大学院、横浜国立大学大学院、

入試情報

入学試験の種類	内 容	入学試験の種類	内 容
前期日程(2月初旬)	英語・数学・理科による入試[2日程実施]	公募制推薦入学試験	英語・数学による総合評価型の自己推薦入試
中期日程(2月初旬)	英語・数学・理科による入試[1日程実施]	外部英語試験活用型	外部英語試験の得点などを外国語(英語)の得点にみなし換算する。
後期日程(3月初旬)	実施していません	指定校推薦入学試験	本学指定校の高等学校長の推薦に基づく入試制度
共通テスト併用型	大学入学共通テストを併用する入試	高大連携協定校推薦	本学との協定校の高等学校長の推薦に基づく入試制度
共通テスト利用型	一般型 大学入学共通テスト(英語・国語・数学・理科)を利用する入試[前期]	編入学試験	他の高等教育機関で課程を修了した後、さらに勉学をしようとする者を対象とした入試制度
	外部英語試験活用型 外部英語試験において、本学が定める能力基準を満たしていることを出願資格とし、大学入学共通テスト(国語・数学・理科)の得点を用いて合否を判定する入試[前期]	外国人留学生(正規留学生)入学試験	学部入学を希望する外国人留学生を対象とした入試制度

・詳細は「入試ガイド」または甲南大学入試情報サイトをご確認ください。

・入試に関するご質問は、甲南大学アドミッションセンター (TEL:078-435-2319) までお問い合わせください。



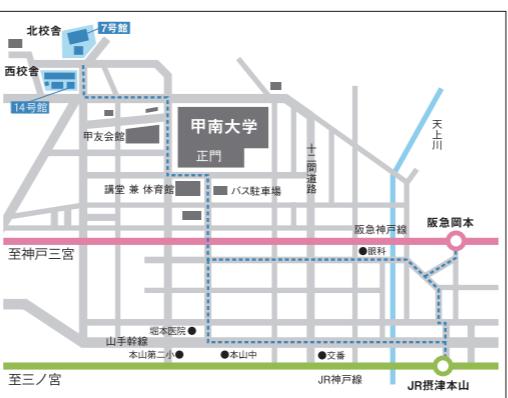
詳しい入試情報はこちら

アクセスガイド

主要路線図



周辺マップ



理工学部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
tel. 078-435-2468 fax. 078-435-2539
http://www.konan-u.ac.jp/faculty/science_and_engineering/

生物学科 Facebook



生物学科 Twitter



※本パンフレットの掲載内容は
2023年6月現在のものです。



甲南ch



生物学科

Biology



POINT 1

遺伝子、細胞、個体、生態、
進化までの幅広い研究領域

いきものの謎を真正面から解明するための基礎生物学を基盤として、社会の役に立てる応用的なアプローチまでを幅広く研究。生命現象の原理・原則を徹底して身につける専門科目と、自分で考える力を育む実験科目によって、生命を科学する力を知識と体験の両方から修得します。



POINT 2

基礎から専門領域の入口へ、
スムーズに進めるカリキュラム

『THE CELL』という世界的に定評のある最先端のテキストを教科書に使用。1、2年次にはバイオサイエンスの基礎を固めるため「生物学入門」「基礎生物学」「基礎生物学演習」を開講します。さらに自主実験(研究の広場)や補習授業によって各専門領域へのスムーズな移行もサポート。



POINT 3

少人数制の研究教育で、
実験技術・研究姿勢を学ぶ

1学年45人という少人数制で教員だけでなくティーチング・アシスタント(大学院生)もサポートするためマンツーマンに近い環境で実験や実習に取り組めます。特色ある9の栽培・飼育・培養施設で「育て観る」ことから始め、生物学研究に必要な実験技術を身につけます。



甲南大学理工学部

KONAN INFINITY

独創的な最先端科学に挑戦できる環境

遺伝子、細胞、個体、生態、進化までの幅広い生物学の領域をカバーして、最先端科学に挑戦するための研究施設、教育設備が整っています。1年生から自主実験などを通じて生物学科棟に入り出し、3年生になって行う専門実験の雰囲気や、卒業研究生や大学院生が新しい発見をしている現場の空気に触れることになります。



生物学科棟(14号館)全景

生物学科の研究室や実験室があります。地下1階から地上4階の5フロアからなるガラス張りの建物です。



4階ロビー

各階のエレベーター前には交流スペースがあります。特に4階からの大阪湾を望む眺望は素晴らしい、綺麗な夜景にいやされます。



多目的レクチャールーム

80人収容でき、発表機材が整っています。研究室内のミーティングから卒業研究発表会、招待講演会などが開かれます。



生体分子分析室

タンデム四重極型質量分析計が設置されており、様々な生体分子を分析し、構造を特定できます。

ニーズに応じた4つの履修モデル

基礎から先端的研究まで、生物学やバイオテクノロジーの専門性を指向するモデル1、教職志願者のためのモデル2、博物館学芸員志願者のためのモデル3、生物学を踏まえた一般教養を重視するモデル4を提供し、幅広い生命科学を教育しています。



吹き抜けのDNA模型

全フロアにまたがる吹き抜けには、巨大なDNA模型があります。



1階ロビー(メイン・エントランス)

学部生が昼食をとったり、休憩したりする憩いの場です。教員や大学院生たちとも挨拶から自然と談笑がはじまる交流の場にもなっています。



生物学基礎実験室

生物学科の2年生、他学科学生を対象とする基礎実験をする部屋です。顕微鏡や器具が並びます。



生物学専門実験室

生物学科の3年生は、火から金曜日の午後は、年間を通してここで専門実験を行っています。



電子顕微鏡室

透過型電子顕微鏡が設置されており、細胞の構造解析や元素組成分析などを行うことができます。理工学部の共用機器施設として利用されています。



院生卒研生室

2から4階の各階には、大学院生と卒業研究者が実験データの整理や論文執筆などを行っています。研究室間の交流の場でもあります。



細胞観察室

共焦点レーザー顕微鏡が設置されており、細胞の構造や細胞中の分子の位置や動きを3次元の蛍光イメージングによって解析できます。

細胞分析室

分子間相互作用解析装置が設置されており、タンパク質や核酸などの生体分子の相互作用を、定量的に解析することができます。

多様な生物に対応する9つの栽培・飼育・培養施設

バクテリアから原生生物、菌、植物、動物の多様な生物を材料とする生物学科には、それに特化した栽培・飼育・培養施設が設置されています。学部生の実験では、物質ではなく生命体を材料とする最大のポイントである「育て観る」ことからはじめます。



原生生物培養観察室

ラビリンチュラ類や鞭毛虫類、藻類など、様々な系統に位置する多様な単細胞の真核生物を培養し維持しています。



模擬植物工場

温度や光を自由自在にコントロールして、季節や天候に左右されずに野菜を育てることができる植物工場の様子を模擬体験できます。



バクテリア観察分析室

大腸菌などのバクテリアを大量に培養するための装置です。1度に10リットル近くの培養液を、一定の温度、速度で振とうすることができます。



酵母培養実験室

酵母菌株の保存と、実験に使用する酵母細胞の培養を行います。菌株保存用の超低温冷凍庫(-35°Cと-85°C)や恒温振とう培養器が備わっています。



線虫飼育室

シロイスナズナのさまざまな突然変異体や形質転換体を栽培し、その機能を解析しています。



ショウジョウバエ飼育実験室

ショウジョウバエの突然変異系統や遺伝子導入系統を飼育し、これらの系統を使って遺伝子の働きを調べています。



社会性昆虫飼育実験室

野外から採集してきた様々な種類のアリを飼育しています。アリのコロニーを観察するための顕微鏡も備わっています。



アクアリウム実験観察室

メダカやホヤなどを飼育しています。遺伝子操作により、受精卵から器官がつくられるしくみを調べています。

学生・大学院生が中心となって最先端の研究成果を上げています

各研究室では卒業研究生(4年生)や大学院生が中心となって活発に研究を行っています。また、生物学科の教員を中心に設立された統合ニューロバイオロジー研究所では、生物が環境変化に応答するしくみについて最先端の研究が行われています。こうした研究成果は、NatureやScienceをはじめとする国際的な学術誌に発表されています。

